

希望

発行 No. 7517

4月号

発行日 2026/4/1

坂本工業労働組合 太田市別所町 292 番地

発行者：小沼博正 / 編集者：茂木直也・田代晴大・川島康生



ゴールデンウィーク期間中の 飲酒運転禁止について (重要)

GW 期間となりますが気を緩めず飲酒運転は絶対にしないでください。

連休中は飲酒の機会が増える時期ですが、飲酒運転は重大事故につながる極めて危険な行為であり、社会的責任・会社の信用にも大きく影響します。

「少しだけ」「近くだけ」などの理由にかかわらず、飲酒後の運転は一切禁止とします。自転車や原付も同様に対象です。

ご自身と周囲の安全のため、強くご理解・ご協力をお願いいたします。



新入社員が入社します

4月1日(水)に新入社員入社式が開催されます。

今年度は12名の方がSRDホールディングス/坂本工業へ入社します。皆様におかれましては、積極的に声かけやサポートを行い、気持ちよくスタートを切れるようご協力をお願いいたします。

安全活動の取り組み

執行委員 ▶ 茂木 直也
 代議委員 ▶ 清水 孔明、小金澤 奨、小林 恵輔

1. 活動テーマ 【ラジオ体操で安全意識向上を図る】

2. 選定理由

一人ひとりの自発的な安全意識の向上を目的として【やらされる安全】ではなく【自ら取り組む安全】を目指しました。また、ラジオ体操を通じて体操＝仕事開始のスイッチになり無意識の状態から意識的な安全行動（KY）へ移行できる事を目的に選定し活動いたしました。

* 始業前の取組み活動なので、本活動は強制ではなく自主参加でのラジオ体操への参加を呼びかけました。

【ラジオ体操をするメリット】

- ① ラジオ体操は全身の筋肉と関節をまんべんなく動かすため筋肉の柔軟性が向上
- ② 作業前の急激な動作によるケガ防止
- ③ 集団実施により安全意識を共有できる

3. 実態調査と問題

ラジオ体操に参加している人数の実態調査を行いました。

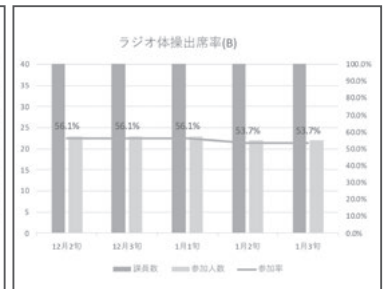
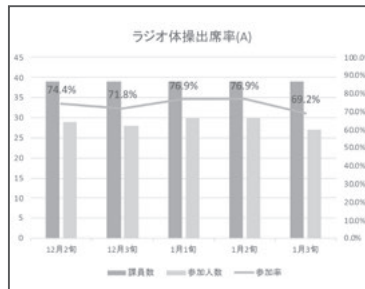
実態把握＝ラジオ体操の状況

R7/12月2旬～R8/1月3旬 平均値

項目	12月2旬	12月3旬	1月1旬	1月2旬	1月3旬
新島工場全体 (A)					
課員数	39	39	39	39	39
参加人数	29	28	30	30	27
参加率	74.4%	71.8%	76.9%	76.9%	69.2%

R7/12月2旬～R8/1月3旬 平均値

項目	12月2旬	12月3旬	1月1旬	1月2旬	1月3旬
新島工場全体 (B)					
課員数	41	41	41	41	41
参加人数	23	23	23	22	22
参加率	56.1%	56.1%	56.1%	53.7%	53.7%



<問題>

* ゆとりある出勤をしていない人は不参加

* 中国人研修生につきましては動作をせず立っているだけの人もいる(朝は眠い・ラジオ体操を教わったが忘れてしまった)

<問題に対する対応>

- * 無理のない範囲で、参加して下さいと言った声掛けを実施(相手の事情を尊重)
- * 中国人研修生を集め本活動の目的だったり効果など通訳を通し教育実施

4. 活動内容と活動風景

- 1) 新島工場全体でラジオ体操の現状を確認実施 R7 12月2旬～R8 1月3旬
- 2) 職場にて活動内容・目的を伝達 2/9
- 3) 活動版に日本語版と中国版で再度目的や効果を説明して掲示 2/13



5. 取組み効果

今までラジオ体操に参加していなかった中国人研修生からジェスチャーで体操OKという声をかけてくれました。(実際に参加している様子を代議委員さんも確認していた)
 また、ラジオ体操に参加できるように、ゆとりある出勤を心掛けたいというような声も出るようになり少しずつではありますが、変化がみえるようになりました。

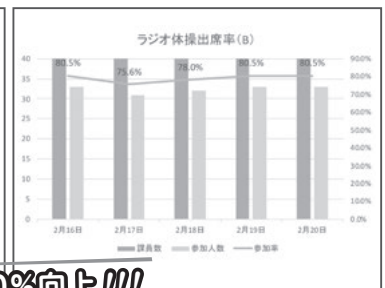
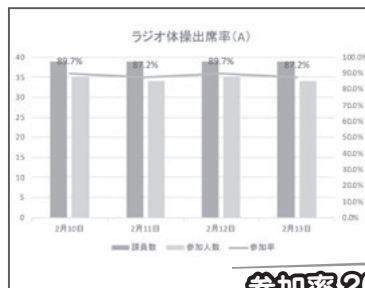
職場会で展開後の状況

2/10～2/13

項目	2月10日	2月11日	2月12日	2月13日
新島工場全体 (A)				
課員数	39	39	39	39
参加人数	35	34	35	34
参加率	89.7%	87.2%	89.7%	87.2%

2/16～2/20

項目	2月16日	2月17日	2月18日	2月19日	2月20日
新島工場全体 (B)					
課員数	41	41	41	41	41
参加人数	33	31	32	33	33
参加率	80.5%	75.6%	78.0%	80.5%	80.5%



参加率20%向上!!!

今後の取組み

始業前のラジオ体操は任意としつつも、安全意識向上と災害防止に有効な活動としています。強制ではなく自主参加を基本とする事で継続しやすい安全文化の定着が期待できるのではと思いましたが、自主性を尊重しながら無理なく参加できる安全文化の定着を目指して取り組んでいきたいと思っております。

野球部 部員募集

日頃より皆様方に熱い御声援、御配慮頂き、
部員一同心から感謝しております。
この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。

野球部は太田市の A クラスに所属し、年間 5 つの大会に出場。活動は、水曜日のナイター練習と日曜日の全体練習、オープン戦、大会に参加をしております。

現在、部員不足で困っております。

経験未経験問わず野球が大好きな方ならいつでも入部を歓迎しておりますので、まずは体験、見学に一度来てみてください。

お待ちしております。

※オープン戦相手も募集しております。

お気軽にお問い合わせください！！

活動日時

水曜日
17:30 ~ 20:00

日曜日
9:00 ~ 12:00

坂本工業グランド

- 群馬県実業軟式野球大会太田市支部予選 (3月)
- 東毛地区企業対抗軟式野球大会 (6月)
- 天皇賜杯全日本軟式野球大会予選 (9月)
- 東毛3支部親善軟式野球大会 (11月)
- 深谷市ハタヤスポーツ主催ハタヤカップ (2月)

毎週日曜日、坂本工業専用グランドで活動しています。

お気軽にお越しください。



<連絡先>
坂本工業野球部

監督 山田 修弘 (営業部：内線 3625)
主将 篠木 佑太 (EXH1：内線 3915)
会計 野口 昌樹 (営業部：内線 3626)

別所工場・新島工場 食堂メニュー

4月9日(木) スタミナ飯焼

4月16日(木) 和風スパイスチキンカレー

リクエストフェア

2025年実施メニュー対象

4月28日(木) ハニーマスタードかも揚げ

4月29日(火) 担々バターコーンラーメン

有給休暇取得推進活動

73期2月度の有給休暇取得状況を展開致します。(突発有給休暇・退職者は除く)
各職場で、取得率が低い人から有給休暇の取得推進をお願い致します。

令和8年2月度実績

目標 11.92日/1人
実績 14.13日/1人平均

詳細

SRDH: 14.87日/1人平均
坂本間接: 14.49日/1人平均
坂本直接: 13.73日/1人平均

- ◇有給休暇を利用して心と身体のリフレッシュをしましょう。家族との触れ合う時間を大切にしましょう。
- ◇今後ともご協力をよろしくお願い致します。

誕生日抽選

【5月該当者48名】

◆◆5月度誕生月の方へ◆◆

5月度の誕生日抽選会を行いますので、次の要領で申込みをお願い致します。申込み方法については下記の申込用紙に記入し、**4月20日(月)**までに担当執行委員、職場代議員に提出して頂ければ抽選で5名様にJTB旅行券を後日、進呈させていただきますので宜しくをお願い致します。旅行券には有効期限がございます。必ずご確認ください。

4月度の誕生日抽選結果発表!

応募総数18名で当選は以下の5名です!

- ★生産部 齊藤 亘
 - ★生産部 山崎 貴裕
 - ★生産部 岩本 良太
 - ★生産部 吉田 祐輔
 - ★経営企画部 宮澤あずみ
- 当選おめでとうございます。

誕生日抽選申込み用紙

社員No.	職場名	氏名	誕生日

🍃 ご協力ありがとうございました！ フードドライブ

2026

2

VOL.1

SDGsチーム新規プロジェクト「フードドライブ」

2/9～2/20に社内で初めてのフードドライブを実施しました！

フードドライブとは、家庭や職場で余っている食品を持ち寄り、必要としている地域の福祉団体や子ども食堂などへ寄付する活動です。

「まだ食べられるのに捨てられてしまう食品」を集め、地域の支援につなげることで、食品ロス削減と地域貢献の両方に寄与できる取り組みとして全国で広がっています。

2 飢餓を
ゼロに



ご協力いただいた皆様へ

この度は、急な開催にも関わらずフードドライブにご協力いただきありがとうございました！

ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。※敬称略

- ★会長 坂本正堂
- ★管理部 岡田理人
- ★購買部 小島由紀
- ★経企部 山崎悠、岡部隼也、柴谷山
- ★他 4名

▼集まった食品



集まった食品は 太田市役所へ寄付しました



▲寄付の様子

集まった食品を太田市役所へ寄付しました。寄付された食品は、太田市役所の自立相談支援センター、社会支援課を通じて福祉施設や食糧支援が必要な方々に無料配布されます。

SDGsチーム 活動紹介

SDGsチームでは、職場環境改善や社会貢献のために様々な活動に取り組んでいます。

社内環境改善：育休ハンドブックの作成、社内Wi-Fiマップの作製、
食堂環境改善、ダイバーシティ啓蒙活動

社会貢献：植林ボランティアへの参加、フードドライブ

気になる方はSDGs事務局（経営企画部）まで！

SDGsチーム 近下・加藤